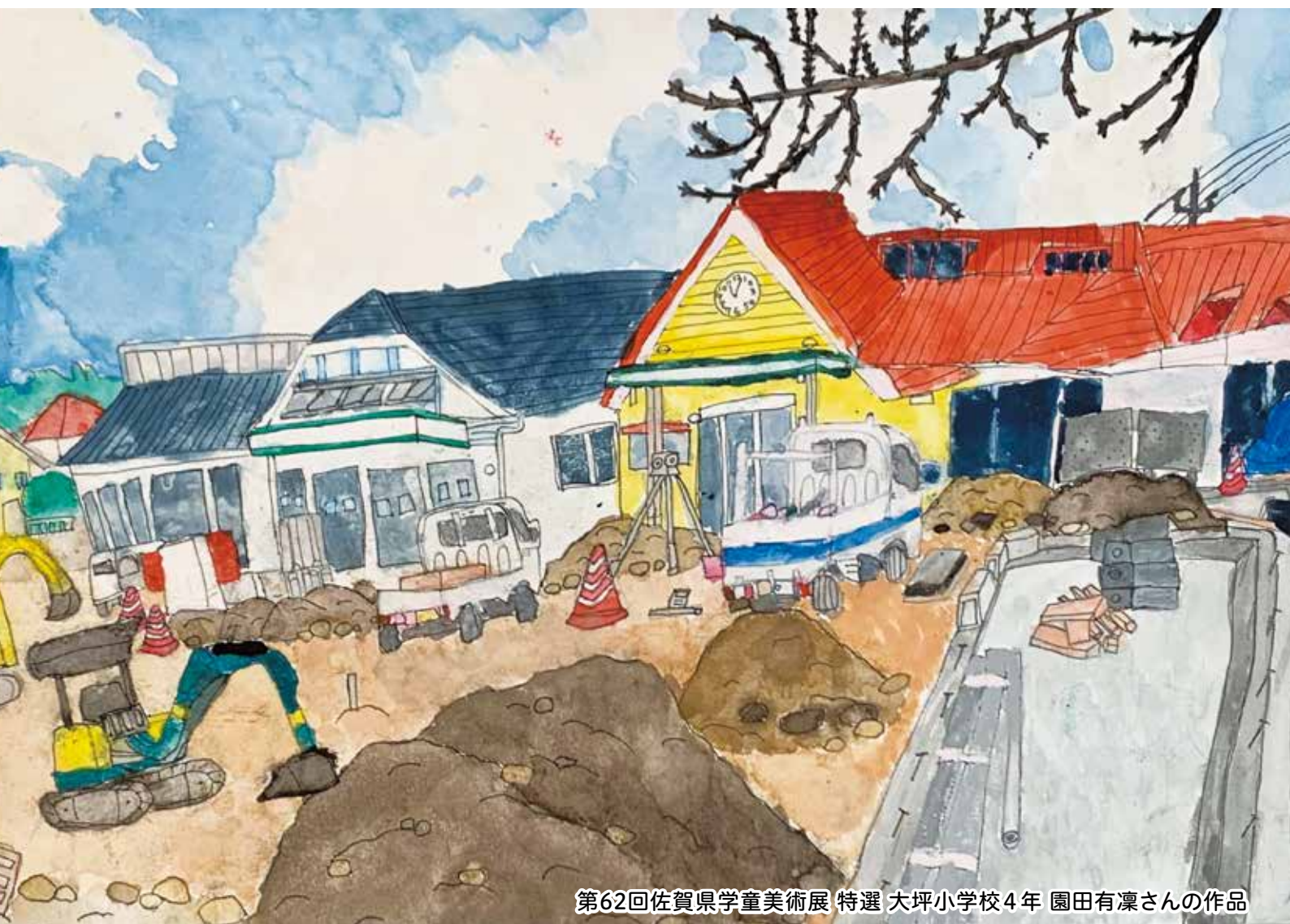


令和4年2月
(2022年)
第80号

IMARI SHIGIKAI NEWS



伊 | 万 | 里 市議会だより



第62回佐賀県学童美術展 特選 大坪小学校4年 園田有凜さんの作品



大坪コミュニティセンター・大坪保育園 複合施設

いまりで、決まり!

市議会のホームページは「伊万里市議会」
で検索、または右のQRコードからご覧
ください。



令和4年第1回定例会は、3月1日(火)開会予定です。



新年あいさつ

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年からの新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願うばかりです。

そうした中、東京オリンピックが開催され、伊万里市初の代表選手として、柳本幸之介選手、鳥山麻衣選手のお二人が出場され、市民として大変喜ばしく、勇気と元気をもらうことができました。

我々市議会は、議会機能を充実し、市民の立場にたって、市長、執行部と互いの知恵を出し合いながら市民参加の市政運営に努めていく所存でおります。

本年が、市民の皆様、本市にとりまして幸せ多い、良き年となりますことをご祈念申し上げまして、ご挨拶いたします。



議長
坂本 繁憲



第3回臨時会 令和3年11月30日(火)

上程された議案は、すべて可決および承認しました

令和3年度一般会計予算

11月補正額	△1,316万3,000円
予算総額	296億7,842万1,000円

人事院勧告に基づく佐賀県の取扱いに準じ、特別職の職員、一般職の職員、市議会議員等の期末手当の額を減額しました。また、市が管理する公園内で発生した遊具の管理瑕疵による事故について、市長専決で支払われた損害賠償の額について承認しました。

第4回定例会 令和3年12月3日(金)～22日(水)

上程された議案は、すべて可決および同意しました

令和3年度一般会計予算

12月補正額	27億 761万円
予算総額	323億8,603万1,000円

ふるさと応援寄附金の増加に伴う返礼に要する経費、松浦鉄道株式会社に対する公共交通維持確保支援金、新型コロナウイルスワクチンの追加接種に要する経費、令和3年8月豪雨により崩壊した林地の崩壊防止工事に要する経費、散弾銃射撃場の汚染土壌の撤去に向けた実施設計等に要する経費等のため、増額しました。

また、子育て世帯等臨時特別給付金について、本市は10万円全額を現金で給付することとしました。

● 教育委員会教育長の任命

*松本 定 氏(二里町・再任)

● 教育委員会委員の任命

*山口 萩月 氏(新天町・再任)

焼き物で世界に名をはせる大川内町内に、かつて市営の散弾銃射撃場がありました。

ちょうど20世紀が終わる頃から、そこに残された鉛弾による土壤汚染が社会問題となっており、周囲まで含めた約5万3,100㎡におよそ57tの鉛弾が堆積したままになっていると推計されています。

12月議会で、高濃度汚染土壤の撤去に向けた対策及び工法を検討するための実施設計委託の予算1,550万円を可決しましたので、ここで一連の流れを振り返ります。

時 期	内 容
昭和38(1963)年	・佐賀国体での競技会場として設置され、伊万里市が引き継ぐ
昭和59(1984)年	・基幹林道腰岳～青螺山線の完成に伴って閉鎖せざるを得なくなったため、伊万里市が代替施設として開設
平成12(2000)年	・これ以降、市議会一般質問などで鉛問題が取り上げられるようになる
平成23(2011)年	<ul style="list-style-type: none"> ・4月：市が射撃場内外10箇所で行った調査で、場内外各2箇所から、鉛の含有量及び溶出量ともに環境基準値を超える数値を検出 ・7月：市は「休止」を決定、県の指導により「関係者以外立ち入り禁止」の柵及び看板を設置 ・11月～24年3月：県の指導により、クレー（的になる素焼きの皿/186t）やワッヅ（散弾を格納するプラスチック容器/8.6t）等の産業廃棄物を回収（平成23年度緊急雇用創出基金事業）⇒24年度予算で運搬処分 ・12月：事実上の「廃止」宣言
平成24(2012)年	<ul style="list-style-type: none"> ・3月：有害鳥獣駆除を行う猟友会会員が佐賀市の県営射撃センターへ通うための旅費を予算化 ・12月：射撃場下流への、排水浄化施設（沈砂池）建設を予算化、設置
平成25(2013)年	・8月：伊万里市散弾銃射撃場環境対策検討委員会（以下、検討委員会）発足（有識者4名、市職員12名）
平成29(2017)年	<ul style="list-style-type: none"> ・1月：第5回検討委員会で「アクションプラン」策定 ① 地元関係者立会いの下、表流水調査（雨季、乾季） ② 大型沈砂池整備への用地取得、一部用地の取得 ③ 鉛汚染土壤の処理方法の検討、沈砂池整備の経費試算
令和2(2020)年	・10月：第8回検討委員会で、「大型沈砂池整備」よりも「射撃場内高濃度鉛汚染土壤の撤去」を優先する方向へ方針転換
令和3(2021)年	<ul style="list-style-type: none"> ・3月：地元関係者や市長・市職員らが鉛汚染土壤の回収を開設以来初めて試行 また、表層土(36地点)、深度別(34地点)の溶出量並びに含有量の調査を実施 ・5月：第9回検討委員会で、土壤調査の結果を踏まえ、効果や財源を考慮しながら、具体的な対策工法について検討を進めることに ⇒汚染土壤のはぎ取り方法や処分の方法、はぎ取り後の土壤への不溶化剤の活用など、より効果的で経済的な視点からの検討を進める

市長選挙執行事業

令和4年4月26日の市長の任期満了に伴い、市長選挙を4月10日に告示し、4月17日の投票の実施に向け、174箇所のポスター掲示場設置業務委託料や投票用紙また全戸配布される選挙啓発チラシ等の印刷製本費など、今年度の準備に要する費用403万2,000円が計上されています。

質疑 市長の任期満了に伴う選挙については、事前に実施されるのがわかっているので、補正予算ではなく、当初予算に計上するべきではないか。

答弁 立候補者の人数の見込みを考慮して、また、これまでの慣例で12月補正予算に計上していたが、任期満了に伴う選挙の予算計上のやり方については今後検討します。



解体中の市民会館本館

市民会館本館の解体工事は、11月中旬に内部の工事から着手し順調に進んでおり、予定どおり年度内に完了できる見込みです。また解体後は、とりあえず真砂土で整地される予定です。

市民会館ステージのどん帳については、関係団体から保存の要望をされていましたが、サイズや重量を考えると現物を保存するのは難しいと判断し、3m×1mのレプリカを作成し、J R伊万里駅の駅ビル内に展示されることになっています。

消防用設備管理事業

南波多町内にある2箇所の防火水槽の補修に係る経費に対し、補助金交付要綱に従って事業費から10万円を差し引いた額の70%に当たる合計44万7,000円を補助します。

南波多町水留区が所有する防火水槽については、周囲からの泥水の流入を防止するための基礎ブロック積み増し工事と経年劣化により破損しているフェンスの取替工事に係る事業費60万1,000円に対し35万円を、また、南波多町笠椎区が所有する防火水槽については、経年劣化により破損しているフェンスの取替工事に係る事業費23万9,000円に対し9万7,000円を補助します。

質疑 市内には他にも補修が必要な防火水槽があると思うが、どのように対応していくのか。

答弁 調査の結果22件あり、その内3件に対応し、他に2件が要望されています。残りについては、地元負担が伴うので地元で検討してもらうように通知しており、要望があればすべて対応していきます。



補修される防火水槽

損害賠償に係る和解

指定障害福祉サービス事業所の運営法人が障害福祉サービス給付費を不正に受給した事件。

質疑 ①弁護士費用の負担は？

②相手方から支払われない場合は？

③損害賠償金の支払い状況は。

回答 ①弁護士とは年間委託契約をしており、その範囲内です。

②相手方が倒産をした場合や支払わない場合は、市が県・国に返金をしなければならないという制度の問題点があると考えていますので、国にも問題提起していきます。

③損害賠償金は、すでに12月14日に支払われています。

委員会の議論から

今回、県の監査の遅れにより時効が来てしまい、損害賠償請求をせざるを得なくなってしまったことに加え、相手方との和解が成立しなかった場合や倒産などの理由で支払われなかった場合は、市が県・国に返金する必要が出てきてしまうという、この制度自体の問題点が明らかになりました。

市は県内全市町で県を通じて国に制度の改善要望していくよう進めているということでした。

また、県からも納得のいく説明が市にされなかったということもあり、委員の中には、「意見書を出すべきではないか」「委員会や市議会として県に説明を求めるべきではないか」という声もありました。

12/16(木)に、松浦スポーツ・レクリエーション施設、伊万里市散弾銃射撃場、同和教育集会所、休日・夜間急患医療センターの4箇所の現地視察を実施しました。

今後の老人憩の家の機能

「伊万里市老人憩の家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について」

公共建築物個別施設計画に基づき、老人憩の家の機能をコミュニティセンターへ集約するためのものです。

質疑 利用手続きが不便になるのではないかと。

回答 申請自体は、あくまでも申請書の提出が1か月前となるが、当然、コミュニティセンターの年間計画等もあるので、ある程度、事前の把握や仮の予約、というような形で運用されています。

今後、申請の方法や利用の仕方など、丁寧に説明をしていきたいと考えています。



現地視察：伊万里市散弾銃射撃場



現地視察：伊万里松浦グラウンド・ゴルフ場

子どもたちに安全と安心を

「交通安全施設整備事業」

市道における歩行者等の安全確保と交通事故の減少を図るため防護柵や区画線が整備されます。

各地区からの要望は多いのですが、危険度を優先し整備を行っています。

整備を促進するために「交通安全施設整備事業(単独)」については、特に市道の区画線等の消滅による不良箇所が多いことから、十分に予算を確保し、交通安全に資するよう適切な対策を行うこと。」と意見を附しました。

事業費：957万円



上伊万里・松島線
(伊万里中学校付近)

地域活動の環境整備

「市民活動促進事業」

一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して、コミュニティ活動に必要な備品の整備に要する経費が補助されます。

今回は、南波多町笠椎区の自治公民館の机や椅子などの整備が対象です。

事業費：160万円
(市の負担なし)

移動手段の維持・確保

「鉄道交通支援事業」

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響により利用者が減少した松浦鉄道に対し、地域公共交通の維持や確保のため、運行に要する経費の一部が支援されます。

事業費：980万円
(国900万円、市80万円)



MR 松浦鉄道

被害拡大防止

「農林地崩壊防止事業」

令和3年8月の豪雨により崩壊した、脇田町平野地区の林地の崩壊防止工事が行われます。



農林地崩壊現場

事業費：1,000万円
(県1/2、市1/4、地元負担1/4)

公共施設調査特別委員会



伊万里市老人クラブ連合会



伊万里市文化連盟



伊万里商工会議所



伊万里市区長会連合会

公共施設調査特別委員会中間報告

公共施設の在り方について、市民との意見交換を踏まえ調査、提言を行うことを目的に設置されましたので、広く市民の声を聞く場として11月中に5団体と意見交換を開催しました。

団体ごとに特徴のある意見をいただき、市民会館本館跡地と周辺施設については、西九州道の延伸と将来を見据え、まちの活性化や観光客の増加につながるこれからの公共施設のあり方について、伊万里の文化や教育的施設も視野に入れ、将来において市民が納得できるような施設を計画すべきとのご意見などがありました。

市役所庁舎建て替えについては、防災の面から現在地が良いというご意見、まちの活性化のためには町なかに移転しても良いのではというご意見もありました。



伊万里市小・中学校連合PTA

いただいたご意見などを参考に、施設の統合、機能の集約、複合化も視野に入れ、将来市民が満足して利用できるように、本委員会としては3月の定例会までに委員間で協議し、提言ができるよう検討してまいります。

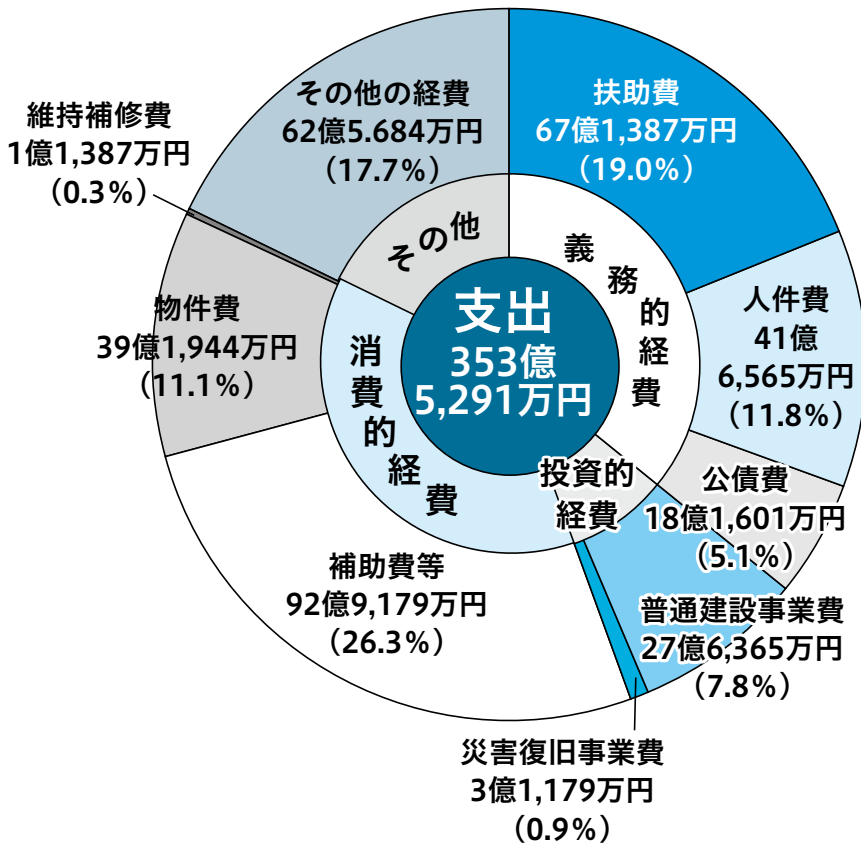
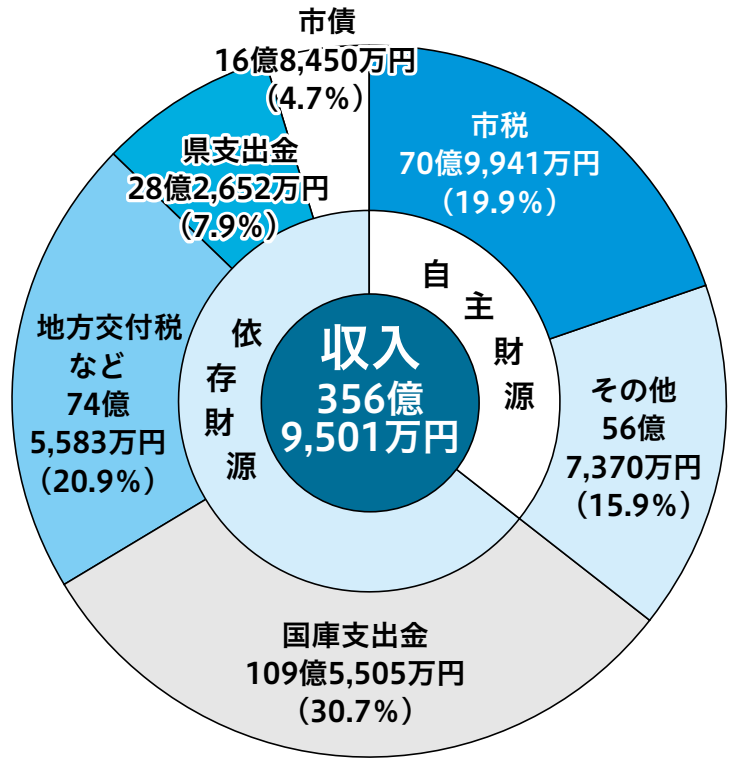
(委員長)井手 勲 / (副委員長)川田 耕一 / 山口 常人 / 前田 敏彦 / 前田 邦幸 / 笠原 義久

比25%の増額

ルスの感染症対策で、国からの交付金等が増大！

●一般会計の収入と支出の内訳

自主財源：127億7,311万円
(35.8%)
依存財源：229億2,190万円
(64.2%)



義務的経費：126億9,553万円
(35.9%)
投資的経費：30億7,544万円
(8.7%)
消費的経費：133億2,510万円
(37.7%)
その他の経費：62億5,684万円
(17.7%)

令和2年度 決算

一般会計 前年度 特別定額給付金など新型コロナウイルス

●会計別の決算状況と前年度との比較

収 入		令和2年度	令和元年度	増減率
一 般 会 計		356億9,501万7,000円	285億223万1,000円	25.2%
特別会計	国 民 健 康 保 険	69億2,216万7,000円	71億7,598万4,000円	△3.5%
	介 護 保 険	63億7,362万8,000円	63億7,555万5,000円	△0.03%
	市 営 駐 車 場	1,652万4,000円	1,823万3,000円	9.4%
	後 期 高 齢 者 医 療	14億5,614万2,000円	14億4,753万5,000円	0.6%
企業会計	水 道 事 業	15億4,079万2,000円	15億853万3,000円	2.1%
	工 業 用 水 事 業	10億3,643万5,000円	10億2,627万4,000円	1.0%
	下 水 道 事 業	13億6,463 万9,000円	12億3,040万5,000円	10.9%

支 出		令和2年度	令和元年度	増減率
一 般 会 計		353億5,291万4,000円	282億6,248万5,000円	25.1%
特別会計	国 民 健 康 保 険	66億8,840万7,000円	68億5,527万1,000円	△2.4%
	介 護 保 険	62億3,471万8,000円	61億8,319万5,000円	0.8%
	市 営 駐 車 場	1,652万4,000円	1,237万7,000円	33.5%
	後 期 高 齢 者 医 療	14億5,528万2,000円	14億4,598万8,000円	0.6%
企業会計	水 道 事 業	14億7,267万7,000円	14億3,315万8,000円	2.8%
	工 業 用 水 事 業	9億7,724万7,000円	10億3,581万2,000円	△5.7%
	下 水 道 事 業	12億5,220万円	12億2,850万2,000円	1.9%

※企業会計については収益的収支（水をつくり、ご家庭や企業にお届けするため、また、下水を処理するための収支）を記載しています。これとは別に、資本的収支（施設や管路の整備などに使用するための収支）があります。

事業効果をチェック!

議会の意見

1 駐在員活動事業

市内には181の行政区があり、現在も1行政区において駐在員不在の状態が続いています。また委託料については、世帯割の占める割合が小さく、均等割が大きい状況です。

駐在員制度は市政の根幹であり、今後のなり手不足も予想できることから、駐在員を区長と限定する現行制度の見直しを検討すること。

2 移住・定住促進事業

本事業では、転入した人のうち市内に新築や空き家を購入した人への奨励金や、首都圏から市内に移住し、市内企業に継続して雇用されている人への支援金の交付などを行い、令和2年度は11世帯42名の移住に繋がりました。その多くは夫婦のうち妻が本市出身者であったことから、移住の傾向が夫主体から妻主体へと変化してきていると考えられます。

本市の課題として、就職や進学を機に18歳前後で転出した若者のうち、特に20代から30代の女性が伊万里へ戻ってきていない現状が

あることも鑑み、移住・定住の促進に当たっては「女性に選ばれるまち」という視点を加えて、より一層の事業促進を図ること。

3 コミュニティバス等 運行事業

高齢化に伴い、交通弱者に対する地域交通手段の確保は、より一層重要になっています。いまりんバスやデマンドタクシーなどの地域交通手段については、それぞれの路線や運行手法によって、利用者数が大きく異なり、1人当たりの運行コストに大きな差が生じています。

利用者の公平性を確保しつつ、今後も地域交通支援事業を安定的に継続するためにも、特に利用者が少ないデマンドタクシーについては、予約方法や利用料金などの事業に関する周知を更に行うなど、利用者の増加を図ること。

4 交通安全指導員活動事業

交通安全指導員の定員は35名ですが、毎年数名が欠員の状態にあり、指導員の高齢化に伴い退任者も多い中、新任者の確保に努められています。

定員を満たすよう、より一層の指導員確保に努めるとともに、実際に指導に当たっている方々に意見を聞きながら、制服の必要性や地域との連携の可能性など、事業として継続可能なあり方について検討すること。

5 留守家庭児童クラブ 管理運営事業

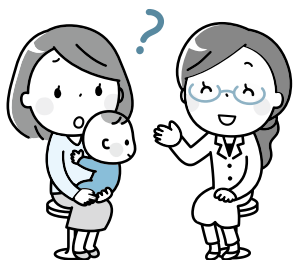
留守家庭児童クラブでは支援員の処遇改善や企業の努力に加え、職員力で柵が整備されるなど、子育て支援の場として整備が進んでいる現場を確認しました。配慮が必要な児童への支援としてブロックごとに支援員を1名、計3名の配置がなされていますが、対象児童数も増加傾向にあるため、余裕を持った体制となるよう要請する。

6 3歳児健康診査事業

現在、3歳児健康診査での視力検査については、事前に家庭で保護者が簡易な視力検査を行い、異常があれば申告をする仕組みとなっています。

視機能は3歳ごろまでに急速に発達し、6歳〜8歳頃に視力が決まり、この間に治療の機会を逃すと回復が難しくなると言われています。機器を使った検査が普及してきており、国でも自治体が機器を購入する際の費用の半額補助が予定されています。

視力検査の方法について十分な検討を行い、健診の精度がより向上するよう努めること。



7 道路管理事業

令和2年度における市道に関する改良工事や維持補修等の要望については、151件の要望に対して、採択が47件であり、採択率は31・1%にとどまっています。今後、市道に関する維持補修の要望に関しては、老朽化の進行等により増加することが見込まれるため、これまでと同水準の予算額では、ますます採択率は下がり、道路の機能維持に支障をきたすおそれがあります。

道路の維持補修は、歩行者や車両の安全な通行のために重要であることから、必要な予算の確保に努めること。

8 学校教育総務事業

令和2年度の特別支援児童生徒支援員数は前年度比10名減の40名となっておりますが、「第4次伊万里市障害者計画」では、特別支援児童生徒支援員数の目標は45名とされています。学校毎にチームで対応するなどの工夫がなされていますが、対応を必要とする児童生徒数は増加傾向にあることから、現状に合わせた増員を目指すこと。

9 図書館資料収集事業

図書館資料は、市民図書館だけではなく、学校図書館への団体貸出のほか、「ぶっくん」が巡回する保育園、小・中学校などでも活用

されています。令和2年度はこれまでになく予算が削減された上、12月議会での補正となったため一部視聴覚資料の配置が遅れるとともに資料の購入数も減り、利用者の利便性が低下しました。

全国学力テストの結果分析でも「読解力の低下」が問題視されており、幼児期から学齢期の読書や調べ学習を支えるため、また、家読を推進するためにも、資料費は十分に確保すること。

10 散弾銃射撃場環境調査事業

これまで行われてきた年2回の水質検査に加え、令和2年度は深度別の土壌調査が行われ、アクションプランに基づく取り組みが動き始めています。

地元住民の安全安心のためにも、早期の鉛問題解決に努めること。

関連記事

P3特集「散弾銃射撃場のこれまで」

決算審査を行うための関連資料「主要な施策の成果に関する説明書」は、議会の要請とそれに応える市職員の努力によって、年々充実してきています。

伊万里市民図書館でどなたでも閲覧できますので、是非一度ご覧ください。

第3回定例会 令和3年9月3日(金)～10月15日(金)

上程された議案は、すべて可決、認定および異議ない旨答申しました

令和3年度一般会計予算

9月補正額	13億3,867万4,000円
10月補正額	1,385万円
予算総額	296億9,158万4,000円

平成22年に発生した農村チャレンジキャンプ中の事故に係る裁判について、原告父親分の判決が確定したことに伴う訴訟への補助参加に係る経費及び伊万里グリーン・ツーリズム推進協議会に対する補助金を支出するため、また、台風14号により被害を受けた二里分団第3部の小型動力ポンプ積載車格納庫の復旧に対する補助金を支出するため、10月15日に補正予算が追加上程されました。

一般質問 (質問順)

議員名	質問事項	議員名	質問事項
盛 泰子	<ol style="list-style-type: none"> 市民の安全・安心へ向けて <ol style="list-style-type: none"> 「交通安全施設要望」 原子力防災訓練 市民との協働へ向けて <ol style="list-style-type: none"> 「ごみ処理広域化基本計画」を受けて 会議録作成システム 	笠原 義久	<ol style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスワクチン接種の現状と今後の対応について 伊万里市の新たな交通アクセスの方向性について 都市計画道路の課題について
松尾 雅宏	<ol style="list-style-type: none"> 市長立候補に伴う選挙運動について 伊万里市農業の「担い手」・「新規就農者育成」について <ol style="list-style-type: none"> 農地中間管理機構関連農地整備事業 園芸 888 運動 (胡瓜ハウス) 市民会館跡地と伊万里保育園候補地について 	山口 常人	<ol style="list-style-type: none"> 移住・定住の進捗状況について <ol style="list-style-type: none"> 直近の状況はどう推移しているか 他市町の成功事例についてどう考えるか 当市の受け入れ体制と課題について 伊万里東部工業団地の企業誘致について <ol style="list-style-type: none"> 進捗状況について 受け入れ条件はあるのか、セールスポイントは 今後の対策について 子育て支援の取組について <ol style="list-style-type: none"> 出生率について 取り組み状況 子育て支援の充実について 投票率向上について <ol style="list-style-type: none"> 投票率について 期日前投票の現状 期日前投票所の設置箇所の考え方
前田 邦幸	<ol style="list-style-type: none"> 市道管理について <ol style="list-style-type: none"> 伊万里団地の経緯 団地内の市道管理の現状について 市道の災害状況について 教育施設の現状について <ol style="list-style-type: none"> 伊万里中学校校舎について 東山代小学校校舎について 	中山 光義	<ol style="list-style-type: none"> 西九州自動車道延伸に伴う伊万里市の観光戦略 <ol style="list-style-type: none"> 西九州自動車道の進捗状況 新たな観光戦略 市道里親制度の導入について <ol style="list-style-type: none"> 除草等の市道管理状況 里親制度について提言 大川・松浦保育園の民営化について <ol style="list-style-type: none"> 民営化の現状 今後の方向性
井手 勲	<ol style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理 (ごみ処理) について <ol style="list-style-type: none"> 廃棄物処理の現状と課題 今後の減量化及び資源化に向けての方針 外国人児童・生徒の就学について <ol style="list-style-type: none"> 国、県における現状及び対応 市の現状及び就学支援対応 (日本語指導など) 就学するにあたっての課題及び対応 企業誘致について <ol style="list-style-type: none"> 企業誘致の状況 浦ノ崎の埋立地の状況と今後の用途変更について 誘致したIT企業の活動状況と将来構想 	岩崎 義弥	<ol style="list-style-type: none"> 市の未来への投資 <ol style="list-style-type: none"> 株式会社SUMCO増員を定住につなげるには 西九州自動車道からの誘客 伊万里市観光協会の強化 稼げる農業への支援 子どもの遊び場
梶山 太	<ol style="list-style-type: none"> たばこ税の活用について <ol style="list-style-type: none"> 市庁舎の屋外分煙に関する対応について たばこ税について たばこ税の一部活用について 交通情勢について <ol style="list-style-type: none"> 現状と課題 		

安全な通学路に



盛 泰子

質問 毎年13地区の交通対策協議会から市に対して交通安全施設整備の要望が出されるが、どのように対応しているか。

答弁 建設農林水産部長
それぞれの関連部署に振り分けた上で、市道に関連する箇所については全て把握しており、特に通学路については関係者と共に現地調査を行って対応している。

質問 立花地区の富士町区から2年連続で出されている市道4号線のT字路付近の横断歩道移転は、警察から「積極的に実施したいが（途切れている）歩道の整備が前提」との回答だった。現在の位置では大変危険なため移動すべき。悲しい事故が起きる前に改良を。

答弁 ①建設農林水産部長、②市長

①危険性は認識しており、今後、予算措置を行って対応したい。②今回の箇所は新しい住宅が増え、

通行量もかなり増加している。必要な経費は予算計上し対応をしていく。千葉県八街市などの事故後、市内一円の通学路点検を行っている。対応が可能な場所については、入学式までに間に合わせたい。



ごみ分別の課題

質問 ごみは佐賀県西部クリーンセンターで★4市5町による共同処理を行っているが、昨年度策定された「ごみ処理広域化基本計画」では分別方法の統一へ向けての課題がある。どう進めていくのか。

答弁 市民生活部長

排出抑制や資源化が大きな課題であり、分別区分の統一化とプラスチックごみの再資源化が大きな課題。ごみ対策協議会など市民も交えた場で協議していく。

（紙面の都合で2問省略）

★4市5町：伊万里市、武雄市、嬉野市、鹿島市、有田町、江北町、大町町、白石町、太良町

伊万里市農業の「担い手」・「新規就農者」育成について



松尾 雅宏

質問 伊万里市には作付けされている水田が1300haあり、高齢化と米価下落で生産意欲が低下し、農地を貸したいと考える農家が増えていく。しかし耕作条件が悪く水田の借り手がなく荒廃が心配されるため、借り手に耕作条件を整備して貸し出す「農地中間管理機構農地整備事業」に積極的に取り組んで欲しい。

答弁 建設農林水産部長

要望があった事業は、長浜千拓で取り組まれており、瀬戸新田も令和4年実施計画に入る。市としても財政的な問題もあるが、伊万里市農業を維持するには今後も進めて行く。

質問 6月議会で質問をしていた園芸888運動(胡瓜ハウス)の上乗せはどうなったのか。

答弁 市長

私は新規就農者の会議には必ず参加している。質問の新規就農者

上乗せ予算については、JA組合長と共に若い就農者の意思も確認した。この事業は市の予算付けが県の条件であり、頑張る農業者には予算をつける。

又そのための土地基盤整備事業も、4年度実施するため進めている。

市民会館跡地と伊万里保育園候補地について

質問 議員で構成する公共施設調査特別委員会が5つの市民団体と意見交換をされた。様々な意見が出されているが、市民にとって関心が高い事柄。早々に執行部も検討委員会を立ち上げるべきと考えらるが。

答弁 総合政策部長

市民会館跡地には老人福祉センターを含め4つの施設があり、更に伊万里保育園の一つの候補地でもある。特別委員会の提言を頂き、できるだけ早く具体的方向を示すための検討委員会を年度内に設置する。



市道管理について



前田 邦幸

質問 伊万里団地内の市道管理の現状について。

答弁 建設農林水産部長

団地内の市道は他の市道と同様に管理しており、特別な管理はしていない。他の市道と同様に市の補修班が路面の補修や草刈りをしている。市民や行政区からの通報には、適宜対応している。

質問 伊万里団地内の中央にある交差点で事故が多発している。信号機を設置すべきではないか。

答弁 建設農林水産部長

団地内の市道12号線と1号線の交差点に信号機をとの提案だが、信号機の設置は警察の所管で、多くの要望があがっている。まずは、1号線の一時停止線前の消えかかっている「とまれ」の文字を書き直し、事故防止に努めていく。
質問 5月の災害で路肩が崩れた楠久市道2号線の復旧が遅れているのはなぜか。

答弁 建設農林水産部長

今年は二度の大雨で、120件の災害があり、測量設計、申請に日数がかかり、入札に至っていない状況だが、査定が終わり次第、楠久2号線については速やかに発注したい。

教育施設の現状について

質問 伊万里中学校の体育館の改修計画があるが、ステージの下を折りたたみ椅子等の収納スペースにと学校側の要望があったと聞いているが、どうなるのか。

答弁 教育部長

多額の経費を要する事から、限られた財源で計画を進めている。伊万里中学校の体育館については、使用に支障をきたしている床の全面改修のみを行う。老朽化が著しい倉庫部分は解体する。

質問 東山代小学校校舎の改築まで数年かかり、老朽化が著しいがそのまま子どもたちの安全安心が保てるのか。

答弁 教育部長

現状については、十分に認識をしているので、今後も日頃の点検や学校側と情報共有し、子どもたちの安全安心を大事に考え、適切な維持管理に努めていきたい。

一般廃棄物処理（ごみ処理）について



井手 勲

質問 ①伊万里市の家庭からの一般廃棄物の排出量の推移は。②さが西部クリーンセンターで処理を始めた平成28年度以降、最終処分量が大きく減少した要因は。

答弁 市民生活部長

①令和元年度、11412t、令和2年度11469tで、緩やかな増加傾向である。②平成26年度は2180t、平成28年度は393tと激減している。要因は、ごみ処理がストーカ方式からガス化溶融方式に変わって焼却灰の発生を抑制している為。

外国人児童・生徒の就学について

質問 ①外国人児童・生徒への就学について、国県の支援制度は。

②市における現状及び支援体制（日本語指導など）また課題及び対応について伺う。

答弁 ①教育部長、②教育長

企業誘致について

質問 誘致したIT企業の活動状況と将来構想について伺う。

答弁 市長

本年7月にバンリビルに進出した企業を中心として「伊万里DIA」が組織され、伊万里商工会議所とのビジネスマッチング交流会などで率直な意見交換が行われている。誘致したIT関連企業を中心として行政と民間が共に役割を果たし、協働して未来の伊万里を創造する取組みがスタートするなど、新たなステージに入ったと考えている。

たばこ税の活用を 考える



梶山 太

質問 健康増進法の改正を受けて市庁舎においての対応はどのように行われたのか。

答弁 総合政策部長

令和元年7月に健康増進法の一部改正が施行されている。これにより、受動喫煙の防止を講じることに必要となった。行政機関の庁舎においては、第1種施設に規定されている。本市も3つの条件を考慮し、市庁舎では、屋外喫煙所を2か所に限定し対応している。

質問 令和2年度決算額で4億8千万円を超える税収があるたばこ税の一部を用い、庁舎内屋外喫煙施設の充実を考えてはどうか。

答弁 総合政策部長

たばこ税は、本市にとっても貴重な財源であることは理解している。提案は理解するが、現時点で屋外喫煙所の充実は考えていない。現状のままでの利用をお願いしたい。

佐賀県及び 伊万里市の交通情勢

質問 佐賀県は人口10万人当たりの人身事故発生件数が、全国でも高い(悪い)数字であることを承知している。令和2年の状況は。

答弁 総務部長

昨年の佐賀県における人身事故発生件数は、461件。全国で4番目となっている。人身事故発生が悪い都道府県の順番は静岡県、宮崎県、群馬県、佐賀県(ワースト4位)、福岡県となっている。

質問 令和2年の全国交通事故発生件数は、309,178件となっている。佐賀県も数字の改善はみられるものの、現在も不名誉な状況となっている。交通事故のない、安全安心なまち「伊万里」に向けての取り組みをお尋ねしたい。

答弁 市長

交通安全に取り組んでいる各種の団体等の協力により、市内の人身事故の抑制につながっていると思っている。現在は「第11次伊万里市交通安全計画」の策定に取り組んでおり、年内での策定を予定している。また、道路交通環境の充実や、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室を開催し、今後取り組みでいきたい。

新型コロナウイルス ワクチン接種の現状 と対応について



笠原 義久

質問 市はコロナワクチン接種にどのような対策をとっているか。

答弁 健康福祉部長

医師会や医療機関の協力を得て、市広報や報道関係の紙面を借りて接種の呼びかけを徹底した。一回目88%、二回目87%と高い接種率を確保し、市民の移動手段を確保する為、タクシー券の発行やシャトルバスやコミュニティバスの無料化を実施し、接種率アップに繋がったと考えている。40日以上市内感染者は発生していないが、三回目接種を確実にする為、今までの実績を生かし万全の対策をとっていく。

質問 40才以下の若年層の接種率が低く、今後の課題と考えるが。

答弁 健康福祉部長

未接種者にはチラシ配布やケーブルテレビ等で呼びかけている。強制ではないので注意しながら呼びかける。ご提案のはがき発送に

については検討したい。

伊万里市の新たな アクセスの必要性

質問 令和4年新幹線長崎ルートが暫定開業に伴い、人の流れを呼び込む為に松浦鉄道の武雄駅乗り入れは考えられないか。

答弁 市民生活部長

物理的には可能である。しかし安全対策に採用しているATS(信号や路線の状況を自動的に制御する装置)が必要で、松浦鉄道も同じで2〜4億の予算が必要。JRから松浦鉄道に乗り入れるには単線の為、離合の軌道が確保出来ず技術的な難しさもある。今後JR、松浦鉄道、沿線自治体協議会で話し合う余地はあると思う。

質問 県内の9市の中で県都佐賀市への直通の交通アクセスがないのは伊万里市だけである。佐賀市へと延長線上の佐賀空港までのバス路線が必至と考えられるが。

答弁 市民生活部長

現在佐賀市へのルートは乗り継ぎで3路線がある。民間バス会社は自治体からの補助があっても、路線の新設は大変難しいと判断している。空港線については、県を交えながら沿線自治体で協議をする必要がある。

移住・定住の進捗状況について



山口 常人

質問 直近の状況はどうか。

答弁 総合政策部長

様々な取り組みにより、平成30年度26世帯85名、令和元年度7世帯26名、令和2年度11世帯42名となっている。

質問 受け入れ体制と課題は。

答弁 市長

伊万里暮らしの良さをSNSやオンライン等で積極的に発信し、移住者増に繋げたい。併せて人口減少化の中での地域の活性化に、所轄部署の連携強化を計り、施策事業を調査研究し取り組んで行く。

伊万里東部工業団地の企業誘致

質問 進捗状況が見えない。取り組み状況を示してほしい。

答弁 総合政策部長

様々なチャンネルを利用して営業活動を展開している。物流関係企業、輸送用機械部品製造企業や

一般機械製造企業等の引き合いがあった経緯がある。

質問 早期に誘致を実現する事が重要。その対策と目途はどうか。

答弁 市長

レディメイド型の特性を活かし、雇用、用水、電力等、付加価値を付ける事によりあらゆる可能性を探りながら検討して、3年以内を目標に掲げ成功させたい。

子育て支援の取組み

質問 合計特殊出生率とは。

答弁 健康福祉部長

夫婦の間に2人の子どもが生まれたら2・0、地域の人口を保つ水準、概ね2・07の数値が必要。

質問 子育て支援の充実を。

答弁 市長

子育て支援施策は重要であり、世代が求めるニーズを的確に反映、今後も取り組んでいきたい。

投票率の向上について

質問 期日前投票所を増やす考えはあるか。

答弁 選挙管理委員会事務局長

確かに投票率は上がると思うが、費用対効果がどうか慎重に検討していく必要がある。

西九州自動車道延伸に伴う伊万里市の観光戦略は



中山 光義

質問 現在の進捗状況は。

答弁 建設農林水産部長

供用開始されている伊万里東府インターから仮称伊万里西インターまでの伊万里道路約6・6kmについては事業進捗率37%、用地進捗率92%で工事は着々と進められているが開通時期は未定である。

質問 新たな観光戦略は。

答弁 総合政策部長

観光協会と緊密な連携を図りながら新しい旅行商品化に取り組むなど、誘客の促進を図っていききたい。

質問 市長の観光戦略について。

答弁 市長

西九州自動車道の開通により福岡から一時間で伊万里に来ることが出来る。

これを活かした観光、また、関係人口を増やし外部の若い人の力を取り入れ、それを活かした観光に取り組みたい。

大川・松浦保育園の民営化について

質問 園児の推移予想は。

答弁 健康福祉部長

大川保育園、令和3年43名、令和8年の見込みで29・4名。松浦保育園令和3年60名、令和8年45・3名と予想している。

質問 統合すれば受け手はあるか。

答弁 健康福祉部長

二つの法人から、単独では難しいが、市が統合の道筋をつければ安定経営ができると話があつている。また、他の法人も手を挙げる場所があると考えている。

質問 統合・民営化のスケジュールは。

答弁 健康福祉部長

令和4年度上半期まで統合検討委員会での協議、下期で公募。5年度から設計、建設。7年度民営化する考えである。

質問 民営化について市長の考え。

答弁 市長

全国でも珍しい保育園から小学校を核とする新しいまちづくりとして考えている。

勿論、市道等の周辺整備と併せて、公園整備も考えていきたい。

未来への投資、市の考えを聞く



岩崎 義弥

質問 ㈱SUMCOの大型設備投資および増員への市の対応は。交通渋滞や住宅対策で通勤しやすい分譲地を市が開発してはどうか。

答弁 総合政策部長

市で企業活動支援チームを結成し横断的・包括的支援にあたる。

質問 西九州道から降ろすにはトイレの整備が必要だと思うが。

答弁 建設農林水産部長

道の駅は白紙となっている。またトイレ設置は考えていない。

質問 観光協会への今後の支援。

答弁 総合政策部長

早田新会長の観光振興への熱い想い、市としても理想とするところであり、今まさに変革の時期を迎えていると認識している。令和4年度から旅行商品を取り扱うことで強固な稼働体制への準備中。ある程度の財政支出も伴うことになると思うが、観光協会の将来を見据えて、持続可能で自走できる

よう、後押しをしたい。

質問 嬉野市ではJAと協力して就農者の初期投資負担が軽い稼げる園芸ハウス団地が整備されたが、伊万里市でも整備できないか。

答弁 建設農林水産部長

嬉野市の事例は参考になるが、基盤整備だけで市の負担が30%と財政負担が大きく、現時点では考えていない。やる気のある就農者への支援は強化をしている。国の補助事業を活用したハウスの建設には上乘せ支援をする方向。

質問 現在、使用禁止となっている公園の遊具が多いが、平均的に整備・維持管理するのではなく、市街地から近く、遊具が充実し、トイレや駐車場も整備された中規模の公園に集約できないか。

答弁 市長

集約する形での再配置が必要と考えているので、市内に4〜5箇所、基幹的な公園を作り、遊具を設置していきたい。

質問 夏冬雨の日は室内での遊び場も求められている。市民会館跡地には「ぽっぽ」を充実・拡大させ、室内こども遊園地の実現を。

答弁 総合政策部長

跡地には周辺施設を複合化し、多世代交流施設にするという考え方もあるので、提案として承る。

編集後記

市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年最初の「議会だより」を発行しました。本年も市民の皆様が「早く次号を見たい、読みたい。」と言って頂けるような内容の濃い議会だよりを目指し頑張ります。

さて、昨年もコロナ禍の一年でした。今後の感染拡大が心配ですが、それぞれの地域で「新たなまちづくり」に取り組むチャンスでもあります。新たな生活様式の中で、新たな発想のもと、未来志向で頑張りましょう。

マンネリ化を打破するためには何が必要かと、自問することがあります。絶えず今を見つめ直し、初心を忘れず前進する議員、議会を目指したいものです。

本年も何卒よろしくお願いいたします。

中山 光義

広報広聴委員会

(委員長) 加藤 奈津実
(副委員長) 西田 晃一郎
盛 泰子 川田 耕一
岩崎 義弥 中山 光義
前田 敏彦

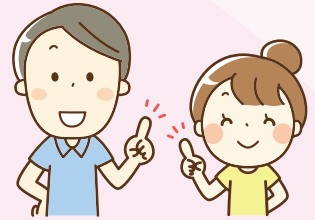
(発行・ご意見)

伊万里市議会
伊万里市立花町1355-1
TEL 0955-23-2594
FAX 0955-22-1277
E-mail: gikai@city.imari.lg.jp

(編集) 広報広聴委員会

(印刷) 株式会社エーワン

傍聴に行こう!!



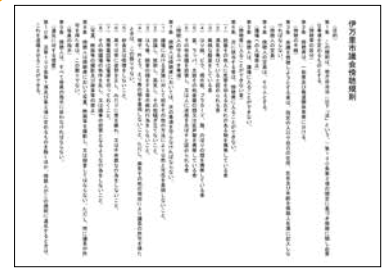
伊万里市議会で開催される会議は、原則すべて公開しています。
12月3日に開会した令和3年第4回定例会は、延べ21人の方が傍聴されました。
今回は議場での傍聴の方法をご紹介します。



議会棟はココ



傍聴専用エレベーター



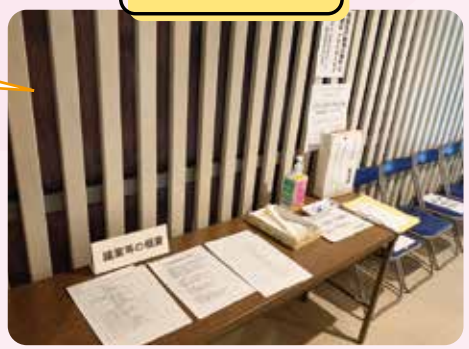
エレベーターの中や傍聴席には「伊万里市議会傍聴規則」が掲示してありますので、ご一読ください。

傍聴人名簿に日付・氏名・住所・年齢を記入し、回収箱へ。

傍聴人名簿	
日付、氏名、住所、年齢を記入してください。 ※記入は朝と昼の2回行われる予定です。	
記入されたら、回収箱にお入れください。	
名前	氏名
住所	〒 市 町 丁目 番 号
年齢	歳



受付コーナー



エレベーターが開いたらそこはすぐ議場。
静かに着席して傍聴スタート!
車椅子2台分のスペースもあります。



テレビやインターネットとは一味違う臨場感があります。



傍聴席から見える議場の風景



- Q 写真や動画の撮影はできますか?
- A 報道機関の方以外の撮影はできません。
- Q 会議の途中で出入りはできますか?
- A 自由に入退席して頂いて結構です。その際は静かに出入りして頂きますようお願いします。

お気軽にお越しください